

会 議 録

1 会議名

平成27年度 第10回金谷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

- (1) 公の施設使用料の減免制度の見直しについて（公開）
- (2) 平成27年度地域活動支援事業の完了について（公開）
- (3) 意見交換（公開）

これからの金谷区を考える

3 開催日時

平成28年2月24日（水） 午後1時28分から午後2時28分まで

4 開催場所

上越市福祉交流プラザ 第1会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・ 委 員：田村恒夫（会長）、川住健作（副会長）、高宮宏一（副会長）、
石川美恵子、石黒正勝、市村政則、上野 弘、小池茂彦、
高橋敏光、高橋日出男、竹内恵市、樋口泰斗、山口茂幸、
山崎四十四、山下 洋、吉越春男

- ・ 事務局：南部まちづくりセンター 橋本センター長、槇島係長、小林主事

8 発言の内容（要旨）

【小林主事】

- ・ 16名の委員の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 同条例第8条第1項の規定により、議長は田村会長が務めることを報告

【田村会長】

- ・会議の開会を宣言
- ・会議録の確認：小池委員、高橋敏光委員に依頼

次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【橋本センター長】

資料により説明

【田村会長】

事務局の説明について質疑を求めるがなし。

続いて、次第3報告(1)「公の施設使用料の減免制度の見直しについて」質疑を求めるがなし。

【橋本センター長】

後日、不明点等があれば、事務局へお願いします。

【田村会長】

続いて、次第3報告(2)「平成27年度地域活動支援事業の完了について」事務局に説明を求める。

【橋本センター長】

資料No.2により説明

【田村会長】

質疑を求めるがなし。

次に、次第4「意見交換」に入る。

「これからの金谷区を考える」ということで、12月から意見交換を行ってきた。前回の概要は資料No.3のとおり。前回までは主に観光振興の話であった。その他の課題について意見を求める。

【川住副会長】

観光について、上越妙高駅は出来たが駅前に何も無いという話がある。金谷区は自然豊かでいろいろな観光資源があるのに十分生かされていない。

他のダムの見学にも行ったが、これほど上越妙高駅や上越高田インターから近い、地の利を得た場所はない。特に向橋や灰塚付近は水源地で、発電所がありダムができ、浄水場がある。また金谷区には正善寺川、儀明川、青田川があり、特に儀明川

は、上越市の子どもが水を学ぶには非常によい場所である。

我々にできるのは草刈りやゴミ拾いなどの環境整備が主体となってくると思うが、皆さんの意見を聞きたい。

【田村会長】

意見を求める。

【石川委員】

川住副会長の意見はもっともだと思う。特に水関係は癒しや人間が生きるサイクルの勉強にもなり、暮らしのあり方が見えて良いと思う。

私は山手に住んでいるが、冬期間の道路通行では、急な下り坂は特に危険であり、若い人に住んでくれと言われたい。そのようなことも承知してほしい。

南葉高原から中ノ俣へ抜ける林道にある牧場跡は、ススキだけの時は絶景ポイントであったが、最近は雑木が生えてきて、このまま消えていくのはもったいない資源だと思う。

【田村会長】

意見を求める。

【山口委員】

金谷区には南葉山や金谷山スキー場など、よいところがいろいろあるが、新幹線開業をバネに希望あるものが全然進んでいない。

お金がないと言われればそれまでだが、市は消防署や水族館、厚生産業会館の建設などのプロジェクトを集約し、いろいろなものを呼び込むことができないのが不思議である。

直江津地区は再開発などの議論が活発に見える。金谷区と和田区の地域協議会同士の連携が必要と思うが、連携が取れていないのはどこに要因があるのか。

金谷区と和田区が連携すれば、新幹線や山麓線が生きてくるのではないか。音頭をとる方がいいと思う。

【田村会長】

他に意見を求める。

【石川委員】

議員にもっと頑張ってもらいたい。ここは金谷区の地域協議会なので、範囲があり狭く考えざるを得ないと思ってしまい残念だとは思う。話し合っていくことはいいことだと思う。

【山口委員】

マクロがしっかりしていかないと発展してこない。地域協議会ではただ内部で議論しているだけである。これが発展するものに結び付けられたらよい。

【上野委員】

前に、協議会だよりの寄稿で、地域協議会では何もできなかったと書いたが、小さいことでも地域の方に提案して、一緒に何かしたかったと思っている。新幹線駅周りの大それたことでなくて、例えば直江津地区でやっていたトイレの案内看板設置などである。そうすると関わった人が、次に何か違うことを始めてくれる。自分自身では限界があるが、他の人から何かを初めてもらえるような雰囲気づくりが大事。

また、I ターンの人と、今までの住人とが新しいアイデアを出していくという、外部からの視点も大切だし、後継者を育てるということにもなる。そういう取組を、われわれは何もしてこなかったという気がする。

私の関わっている吉川の川谷地区のように、移住してきた人が頑張っている場面が多くみられる。外の血を入れることは大変だが、地域活動支援事業を使って何かやってみるほうが一番早いと思う。

【田村会長】

意見を求める。

【竹内委員】

高田駅前のライトアップや、高田小町でのかくまきスタイル、高田世界館、名立の駅の取組など、比較的若い方が地域や街を引っ張っているのを見る。

上野委員の発言のとおり、地域活動支援事業の資金を使って、中心になってくれる人を見つけていかないと、意見だけでは前に進まない。

私自身、地元の歴史を知らない。金谷地区も、ただ歩くよりも案内人がつくだけでよく理解できるようになる。そういう意味で活動してくれる人を見つけ出すこと

をしないと前へ進んでいけないのではないかと。

【高宮副会長】

まずは我々が動いてみるのが大事ではないか。地域で何かしよう、では何ができるかという発想で進むと思う。それがこの地域協議会委員の一員であると思う。

いい例が、アライスキーリゾートにロッテがきて、上越妙高駅の利用をどのようにしてもらうかを考えると、我々も動く理屈がある。動く人、行動を起こすことが大事だと思うがいかがか。

【石川委員】

解散した畜産組合が使っていた牧場の小屋を整備する目的で、旧組合の人たちが中心になってはだしの会を作った。

地元業者が牧場をテーマパークにしたいという話が出て、市の牧場だったので行政が中に入って話し合いが行われ、はだしの会の活動に待たがかけられ現在に至っている。テーマパークの話はそのままとなっており、それがなければ道路整備が進み、雑木の問題も出なかったと思うと残念である。現在は牧場を眺めている状態。

【高宮副会長】

滝寺にあった養豚場の臭いがきつくて、今はバーベキュー場になっている。そういうこともあつての話かと思う。

金谷地区にあるいろいろな組織と地域協議会の一体化が必要で、他の団体や地区との話し合いの場が必要ではないかと感じている。

【田村会長】

他に意見を求める。

【高橋日出男委員】

上越妙高駅ができたことにより、市の観光部門が観桜会や謙信公祭などの大きな行事の集客に躍起になっていると思う。金谷区が観光で生きるなら、人が大勢集まる場ではなく、寄ってみたい所として、第二の仕掛けで出番があるかなと思っている。

「金谷区をどうするか」という前回の意見で行くなら、我々が退任後にもずっとこういう意識で向かって行ってほしい。

先ほど出た、ダム建設や荒れた所のこれからを、後退でなく前進する部分で出てくるものをうまくかみ合わせていくべき。看板のようなものと違い、我々の4年の任期で仕上げるのではなく、長期ビジョンをもって、ずっと引き継ぎながら一つの方向に向かって行く必要があると思う。

【田村会長】

他に意見を求める。

【竹内委員】

先般、講座で、神奈川県から来て大島区に暮らし、安塚地区公民館協力員をしている方と一緒にあった。そのような人たちが上越地域にもいると感じた。

人を見つけなくては前に進まない部分もあるという気がした。

【田村会長】

意見を求める。

【高橋敏光】

会津墓地や金谷山、南葉山キャンプ場にも大勢の人が来るようになったが、お土産がない。お土産のないところは観光地にならない。また、波及効果としてお金が落ちなければ観光ではない。

宇喜世が大きな駐車場を作ったのは、城下町の風情で食事したい客がいるからで、昼はとても混んでいる。ヨーデル金谷もやっと黒字になった。あの辺で中ノ俣の野菜を売りたいと持ちかけたことがある。あるるん畑のようなものを南部のこの辺で造ってもいい。供給がうまく循環できると、食事をして野菜や山菜などの買い物をしてもらえる。レルヒカレーが金谷山で買えないで町なかで売っているのが不思議。金谷地区には売る場所がないので、その手始めにヨーデル金谷でも野菜を売ろうかと考えた。

会津墓地の看板を立てるのに市に通って何年もかかったように、市は金谷区に全然見向きもしない。考えてもしょうがない。我々でやるのならば、小さいところから考えなければいけない。観光の話だけで進んでいるが、金谷区をどうするかと考えるならば、人口減少、山間地、ダムなどを協議すべきである。金谷区を考えると、観光だけでは進まない。

【田村会長】

今までの意見を集約し、意見書を提出するなど、市が動くような形をつくることも検討したい。また、作成した観光マップをどのように活用していくかについても考える必要がある。金谷区のさまざまな観光資源をどのように活かしていくか、再度宿題として検討したい。出た意見をどう絞っていくか意見交換をしていくことで委員の了承を得る。

続いて、事務局に事務連絡を求める。

【橋本センター長】

- ・第11回協議会：3月16日（水）午後1時30分～ 福祉交流プラザ
- ・新年度第1回協議会：4月27日（水）午後6時～ 福祉交流プラザ
- ・次期委員の公募期間：3月9日（水）～3月21日（振替え休日）午前8時30分～午後5時 南部まちづくりセンター
- ・地域協議会活動報告会：2月27日（土）午後2時～ 福祉交流プラザ
- ・地域協議会たより25号：3月1日発行

【田村会長】

質疑を求めるがなし。

会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課
南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。